

条例その他

# 消防団員の定年を 65歳に引き上げ

## 町消防団設置等に関する条例の改正

(要旨) 部長以下の一般消防団員の定年を60歳から65歳に引き上げるもの。  
(全員賛成で可決)

### 少子化で若い 団員が不足か

**問** (阿部泰藏議員)  
定年延長は、少子化の影響で若い団員が不足したためか。

### 住民生 課長

団員確保と組織体制維持のため、幹部会議で議論し決定したもの。ここ3年は、毎年10人以上の新人団員が加入している。

### 問

何歳か。

(佐藤定男議員)  
近隣市町の定年は

### 住民生 課長

左表のとおりである。

各市町の消防団の定年

	団長・副団長	一般団員など
国見町	65歳	
桑折町	定年なし	
川俣町	定年なし	65歳
福島市	70歳	65歳
伊達市	※70歳	65歳

※伊達市は副分団長以上

## 駅前デイサービスの 管理者を社会福祉協議会に決定

(要旨) 駅前デイサービス

ンターの指定管理者の期間が満了となるため、新たに公募した結果、引き続き国見町社会福祉協議会に決定したもの。期間は4月1日から平成31年3月31日までの5年間。  
(全員賛成で可決)

## 町営住宅の入居 資格を追加

## 町営住宅管理 条例の改正

(要旨) 法律の改正により、入居者の資格要件を、これまでの配偶者からの暴力の被害者に加え、交際相手からの暴力による被害者を追加するもの。  
(全員賛成で可決)

※指定管理者制度とは

町施設の管理を法人(公社など)や公共的団体(社会福祉法人など)、民間企業に期間を定めて行わせること。

契約関係

## 藤田方部仮置き場工事費を増額

(要旨) 藤田方部1号仮置き場(山崎字前柳地内)の契約金額に994万円を増額し、総額9702万円で地下水対策を強化し工事するもの。  
(全員賛成で可決)

対策は無駄では。

### 原発災害 対策課長

10月上旬に判明し、当初の対策工事前に変更した。これまで当初契約金額の中で変更を進め、途中で工事費が不足する分を増額するもの。

## 事前調査で 予測可能では

### 問

(阿部泰藏議員)  
地下水が多いのは事前調査で予測できなかったのか。

### 原発災害 対策課長

工事により土を移動したこと  
で想定以上の地下水が出たため、対策するもの。

## 工事の変更時期は

### 問

(阿部泰藏議員)  
工事の変更はどの時点か。当初設計した排水

## 当初からの 設計ミスでは

### 問

(村上正勝議員)  
地盤が軟弱なのは最初からわかっていたはず。1000万円近くの増額は設計ミスでは。

### 原発災害 対策課長

設計は適正だが、工事を進める途中で問題が発生したものの。これまでも最善の方法で進めており、今後も現場の状況により適切に対応する。

## 12月定例会 町長の行政報告(抜粋)

### ■ 東日本大震災の早急な復旧・復興

仮置き場は各地区で除去土壌の搬入や造成工事を進めており、住宅・宅地除染の作業着手戸数は495戸。(1月20日現在)

県北浄化センターの汚泥は、飯舘村の減容化施設に搬入可能となり、11月28日に県と覚書を締結。なお、悪臭などの損害賠償は、引き続き県と東京電力に周辺対策を含め求めていく。

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、21歳以上の全町民対象で1月中旬までに終了予定。これまでの検査結果で、健康に影響を与えるような数値は検出されていない。

平成25年産米の検査は、6万3679袋を実施。基準値を超える米は検出されていない。

地域間交流及びトップセールスは、10月から岐阜県池田町と東京都羽村市でモモ、リンゴ生産の青年農業者、コメ農家と町特産農産物のPRを実施。

あんぼ柿は、「加工再開モデル地区」で3年ぶりに加工を再開。国見共撰場で12月から安全検査を開始。

### ■ 安全安心なまちづくり

国見町総合防災訓練は、10月27日に実施し、町内会の避難訓練には2086世帯、2704人が参加。上野台運動公園などの各種訓練には自主防災会役員など257人が参加した。

災害時における相互応援協定をヤマト運輸株式会社、福島県LPガス協会、北海道ニセコ町と締結。

### ■ 活力あるまちづくり

まちづくり懇談会は、11月16日から5地区で開催し、「交流の場」に多数の意見をいただいた。

活力あるまちづくり検討委員会から、11月27日に「これからのまちづくり基本計画」の意見を受けた。今後は事業の具体化を進めていく。

「明日へ、復興・きずなイルミネーション事業」は、11月23日にキャンドルパーティーとイルミネーション点灯式、12月23日に阿津賀志山ビッグツリー点灯式と2回目のキャンドルパーティーを実施。

### ■ 思いやりのあるまちづくり

屋内遊び場「くにみもたん広場」は11月12日に入場者1万人を達成。今後も、親子で安心して楽しめる遊び場を提供していく。

### ■ 町の維持発展と町民との連携

町内各分野の関係者との合同町政懇談会を11月8日に開催し、その意見を平成26年度当初予算に反映するよう検討していく。

ミニバイクなど町のご当地ナンバーを作成し、1月6日から交付。

出初式で防災へ決意(上野台運動公園)



## 小坂方部仮置き場工事を決定

(要旨)小坂方部1号仮置き場工事契約(泉田字大松山地内)を株式会社渡辺建設(国見町徳江)と8575万円で締結します。工事は26年3月31日までの予定。(全員賛成で可決)

## 地盤改良は必要か

問 (村上正勝議員) 山崎の仮置き場と同じく地盤改良や地下水対策は必要になるのか。

原発災害対策課長 調査の結果、対策は必要ないとの判断。

## 古い街路灯をLED照明に交換

(要旨)板橋南ニュータウン

内街路LED照明工事を有限会社佐久間工業(国見町森山)と5617万円で契約します。工事は26年3月20日までの予定です。

問 (全員賛成で可決)

交換で経費節減は可能か

問 (村上晴夫議員) 補助金の割合は、LEDに交換すると電気料金は節減されるのか。

課長 国の補助割合は4割。交換で料金は安

くなるが、どのくらいになるかは調査中。

## 古い街路灯の残数は

問 (松浦常雄議員) 古い街路灯はまだ残っているのか。

課長 今回の工事はニュータウン内の道路沿い31基のみで、公園内の古いものは残る。